

昭和53年度予算成立

一般会計 **13億6,700万円**
 三特別会計 **5億3,530万円**

歳入

(単位千円)

款	昭和53年度		昭和52年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 町 税	220,012	16.1	183,451	18.6	36,561	19.9
2 地方譲与税	27,000	2.0	26,000	2.6	1,000	3.8
3 自動車取得税交付金	23,000	1.7	22,000	2.2	1,000	4.5
4 地方交付税	570,000	41.7	500,000	50.6	70,000	14.0
5 交通安全対策特別交付金	1,100	0.1	750	0.1	350	46.7
6 分担金及び負担金	17,943	1.3	23,159	2.4	△ 5,216	△22.5
7 使用料及び手数料	7,288	0.5	6,483	0.7	805	12.4
8 国庫支出金	157,323	11.5	96,526	9.8	60,797	63.0
9 県支出金	42,728	3.1	39,185	4.0	3,543	9.0
10 財産収入	7,204	0.5	7,406	0.7	△ 202	△ 2.7
11 寄付金	7,887	0.6	8,201	0.8	△ 314	△3.8
12 繰入金	95,000	7.0	57,000	5.8	38,000	66.7
13 繰越金	20,000	1.5	10,000	1.0	10,000	100.0
14 諸収入	11,515	0.8	7,339	0.7	4,176	56.9
15 町債	159,000	11.6			159,000	皆増
合計	1,367,000	100.0	987,500	100.0	379,500	38.4

一般会計

建設事業へ重点配分

昭和五十三年度光町一般会計予算、三特別会計予算は、三月十一日の定例町議会に於て原案通り議決成立しました。

一般会計予算は不安定な経済下においてもゆるぐことのない財政基盤の確立をはかることを基調としつつ積極的な予算を編成した。
 主な施策は、教育、社会福祉の充実強化、産業の振興を大きな柱とし、生活関連道路の整備、町民体育館、学校給食センターの建設、村ぐるみ農業の推進等、大規模な建設投資を行う。
 一方、障害児保育や、児童措置費助成事業を新規に計上するとともに、町史編さん事業等の文化的事業も積極的な計上が図られています。
 これら財源確保のため、需用費等の消費的経費を厳しく洗いなおし、町税、地方交付税等の一般財源を積極計上し、効率的な配分をしたものであります。

道路舗装及び改良事業計画

路線名	事業の概要		
(舗装工事)	延長	巾員	
二又・市野原線	1,040m	4.5m	(二又～宝米)
篠本・下橋線	500	3.5	(篠本一区～二区)
橋場・古屋線	600	4.0	(橋場～古屋)
五ノ神線	900	4.0	(五ノ神)
谷中線	700	4.0	(谷中)
小田部線	525	3.5	(小田部)
白磯線	500	4.0	(白磯)
木戸線	350	4.0	(木戸)
白浜小学校前	800	4.0	(木戸～関)
和田線	600	3.0	(篠本二区)
入・古屋線	700	3.5	(入～古屋)
(舗装工事)	延長		
11路線	7,215m		
(改良工事)	延長		
関・白磯線	1,100m	4.5m	(関～白磯)



着々と進む道路舗装 (52年度完成・宮内～谷中線)